

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)河原町七条ホテル	階数	地上6F
建設地	京都市下京区七条通木屋町上る大宮町464番地	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	255 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年8月21日
敷地面積	640.56 m <sup>2</sup>	作成者	鈴木
建築面積	529.11 m <sup>2</sup>	確認日	2019年8月22日
延床面積	2,589.06 m <sup>2</sup>	確認者	細野



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 184 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)  
 ②建築物の取組み: 16.5 (91%)  
 ③上記+②以外の: 16.5 (91%)  
 ④上記+: 16.5 (91%)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.0)

##### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.9)

##### Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.6)

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 2.9)

##### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.0)

##### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 2.8)

3 設計上の配慮事項		その他
総合 太陽光発電を利用した環境への配慮を実施したホテル		
Q1 室内環境 ほぼすべての建材においてF★★★★材を採用した	Q2 サービス性能 客室の寝室部分の天井高を2600mm以上確保した	Q3 室外環境 (敷地内) 京都市景観条例に基づいた配慮を行った
LR1 エネルギー 太陽光発電システムを採用した	LR2 資源・マテリアル 地域産木材を使用した	LR3 敷地外環境 建物周囲について、可能な限りの通風空間を確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される